

2025年度 第3回建設業景況調査

北海道建設業信用保証株式会社
2026年1月

1. 調査目的

- ・北海道の建設企業の経営動向の調査を行い、建設業のおかれている状況を総合的に迅速かつ的確に把握することを目的としています。

2. 調査時期

- ・毎年3、6、9、12月。

3. 調査対象

- ・当社と取引関係にある建設企業の中から、地区別、業種別、規模別の分布状況を考慮して、建設業の経営動向を反映するに足りると認められる企業を対象としています。
なお、調査対象企業は原則として固定しています。

4. B. S. I. とは

- ・景気の先行きをみる上で、企業経営者の意識調査を行うことがあります。この建設業景況調査は、景気等に関して個々の建設業者の意識調査を行ったものです。そして、この意識調査の結果を数値化して表したものがB. S. I.（ビジネス・サーベイ・インデックス＝景況判断指標）です。
- ・B. S. I. は以下の方法により求められます。

景況調査集計	B. S. I. 集計
良 い	良 い
や や 良 い	
変 ら ず	変 ら ず
や や 悪 い	
悪 い	悪 い

回答企業構成比を、左表のように景況調査集計からB. S. I. 集計に置き換えて、以下の式により算出します。

$$B. S. I. = (「良い」と回答した企業割合 - 「悪い」と回答した企業割合) \times 1/2$$

概観

○地元建設業界の景気(B.S.I.値)は、前期比で1.0ポイントマイナスとなり、「悪い」傾向が続いている。

・地区別でみると、道央は「悪い」傾向が強まり、道南は「悪い」傾向が弱まっている。

○受注総額(B.S.I.値)は、前期比で0.5ポイントプラスとなり、「減少」傾向が続いている。

・地区別でみると、道南と道央は「減少」傾向が弱まり、札幌圏と道東は「減少」傾向がやや強まっている。

【今期：前期（2025年7～9月）に比べた今期（2025年10～12月）の状況】

【来期：今期（2025年10～12月）に比べた来期（2026年1～3月）の状況】

項目		2025/3 B.S.I.値	2025/6 B.S.I.値	2025/9 (前期) B.S.I.値	2025/12 (今期) B.S.I.値	前期比	2026/3 (来期) B.S.I.値	今期比
(1) 業況等	地元建設業界の景気	▲ 9.0	▲ 9.5	▲ 11.0	▲ 12.0	▲ 1.0	▲ 12.5	▲ 0.5
(2) 受注	受注総額	▲ 8.5	▲ 8.5	▲ 8.5	▲ 8.0	0.5	▲ 11.5	▲ 3.5
	官公庁工事	▲ 10.5	▲ 10.0	▲ 9.0	▲ 10.0	▲ 1.0	▲ 11.0	▲ 1.0
	民間工事	▲ 7.0	▲ 7.0	▲ 8.5	▲ 6.0	2.5	▲ 8.5	▲ 2.5
(3) 資金繰り	資金繰り	3.5	3.5	3.5	1.5	▲ 2.0	1.0	▲ 0.5
(4) 金融	銀行等貸出傾向	7.5	8.0	7.5	7.5	0.0	7.0	▲ 0.5
	短期借入金	3.5	0.0	2.5	2.5	0.0	2.5	0.0
	短期借入金利	21.5	20.5	16.0	13.5	▲ 2.5	14.5	1.0
(5) 資材	資材の調達	▲ 4.5	▲ 5.5	▲ 5.0	▲ 4.0	1.0	▲ 4.5	▲ 0.5
	資材価格	30.5	31.5	27.5	26.0	▲ 1.5	26.5	0.5
(6) 労務	建設労働者の確保	▲ 27.0	▲ 25.0	▲ 24.5	▲ 24.5	0.0	▲ 28.0	▲ 3.5
	建設労働者の賃金	28.0	34.0	28.5	27.0	▲ 1.5	26.5	▲ 0.5
(7) 収益		▲ 12.5	▲ 10.5	▲ 9.5	▲ 9.5	0.0	▲ 13.5	▲ 4.0

注) B.S.I.値のプラスは、良い、増加、容易、上昇の傾向を示す。

B.S.I.値のマイナスは、悪い、減少、困難、下降等の傾向を示す。

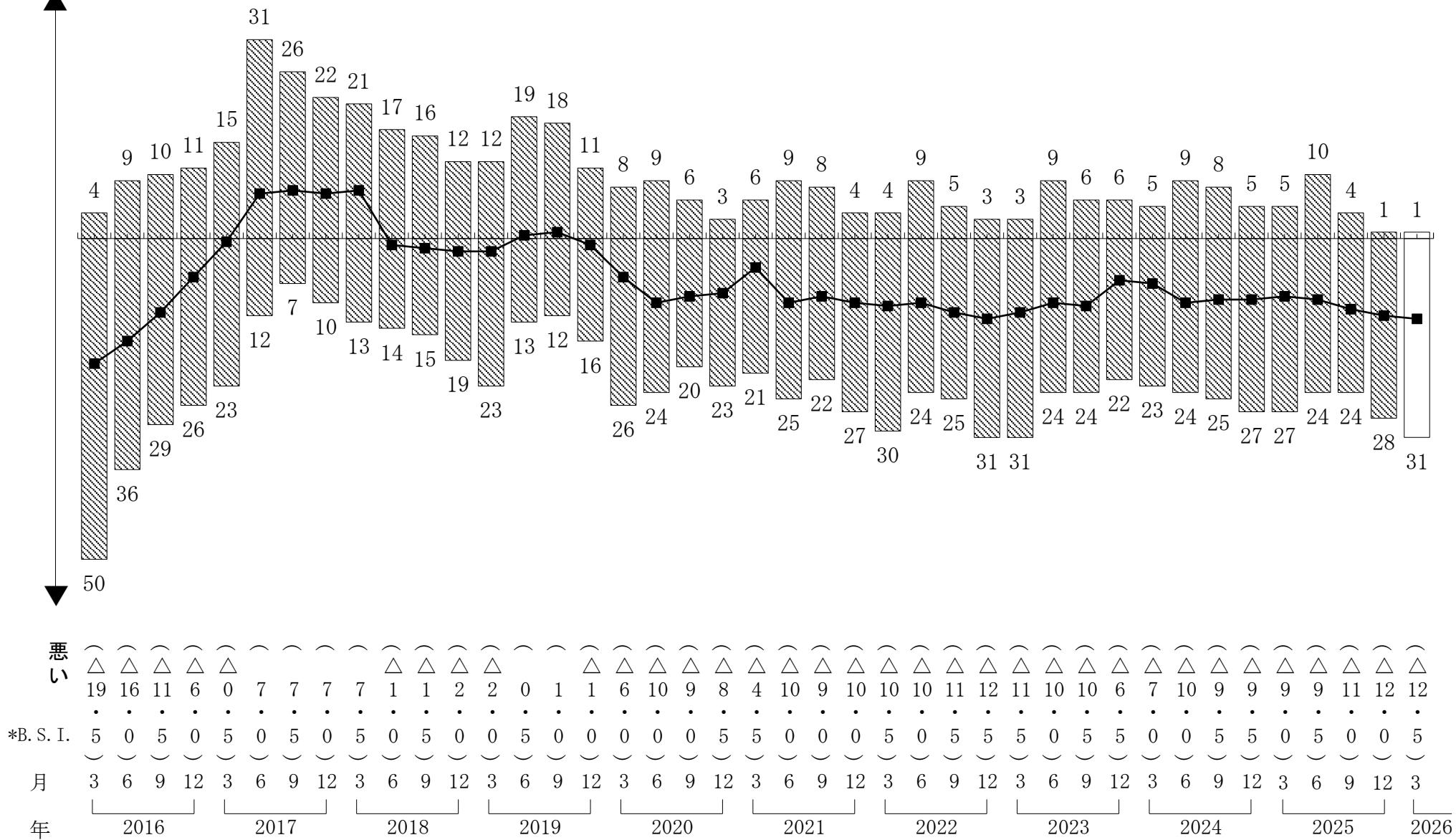
B.S.I.値は、季節調整により前回調査時と異なる場合がある。

地元建設業界の景気

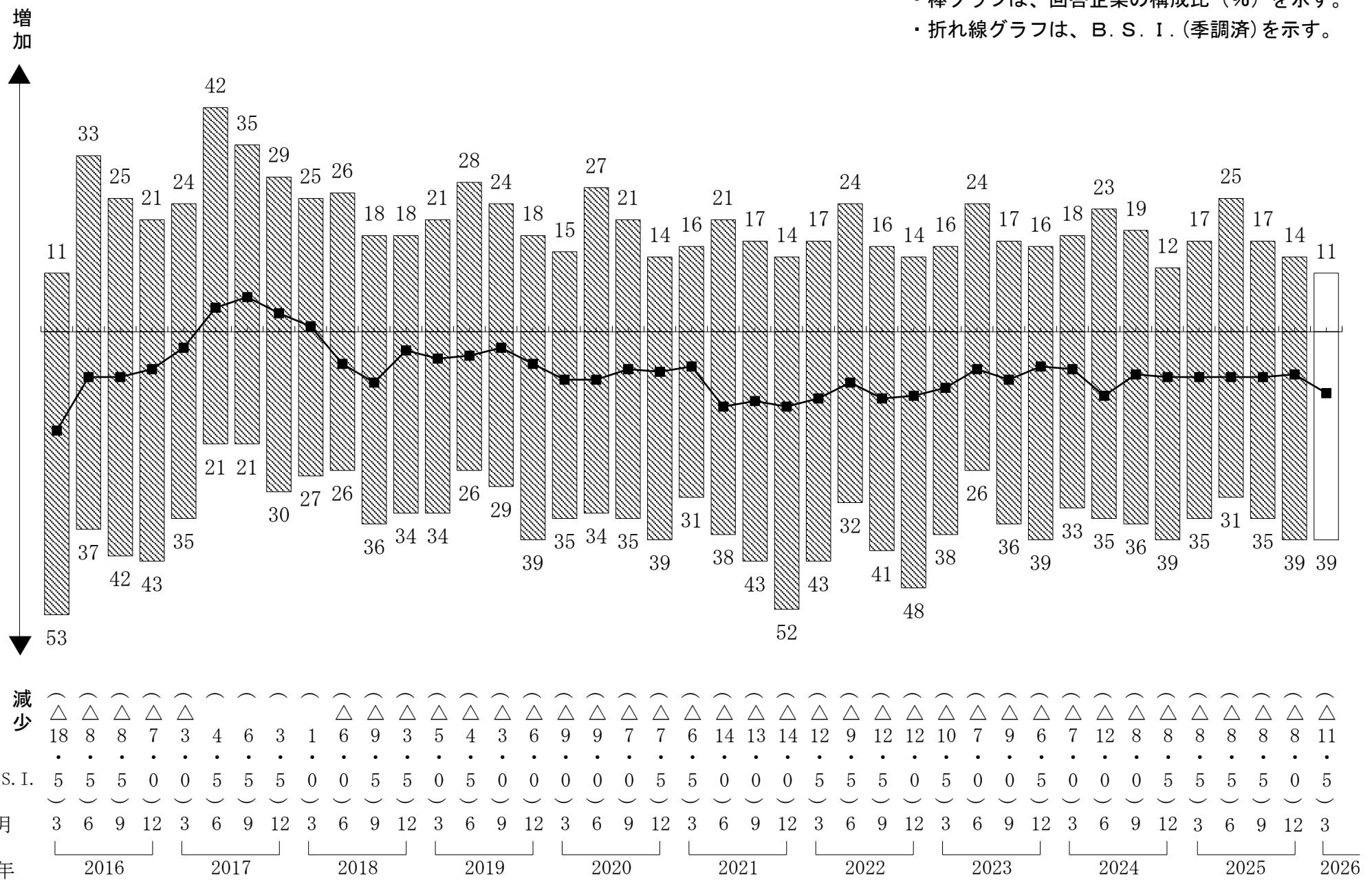
良い



- ・棒グラフは、回答企業の構成比（%）を示す。
- ・折れ線グラフは、B. S. I.（季調済）を示す。

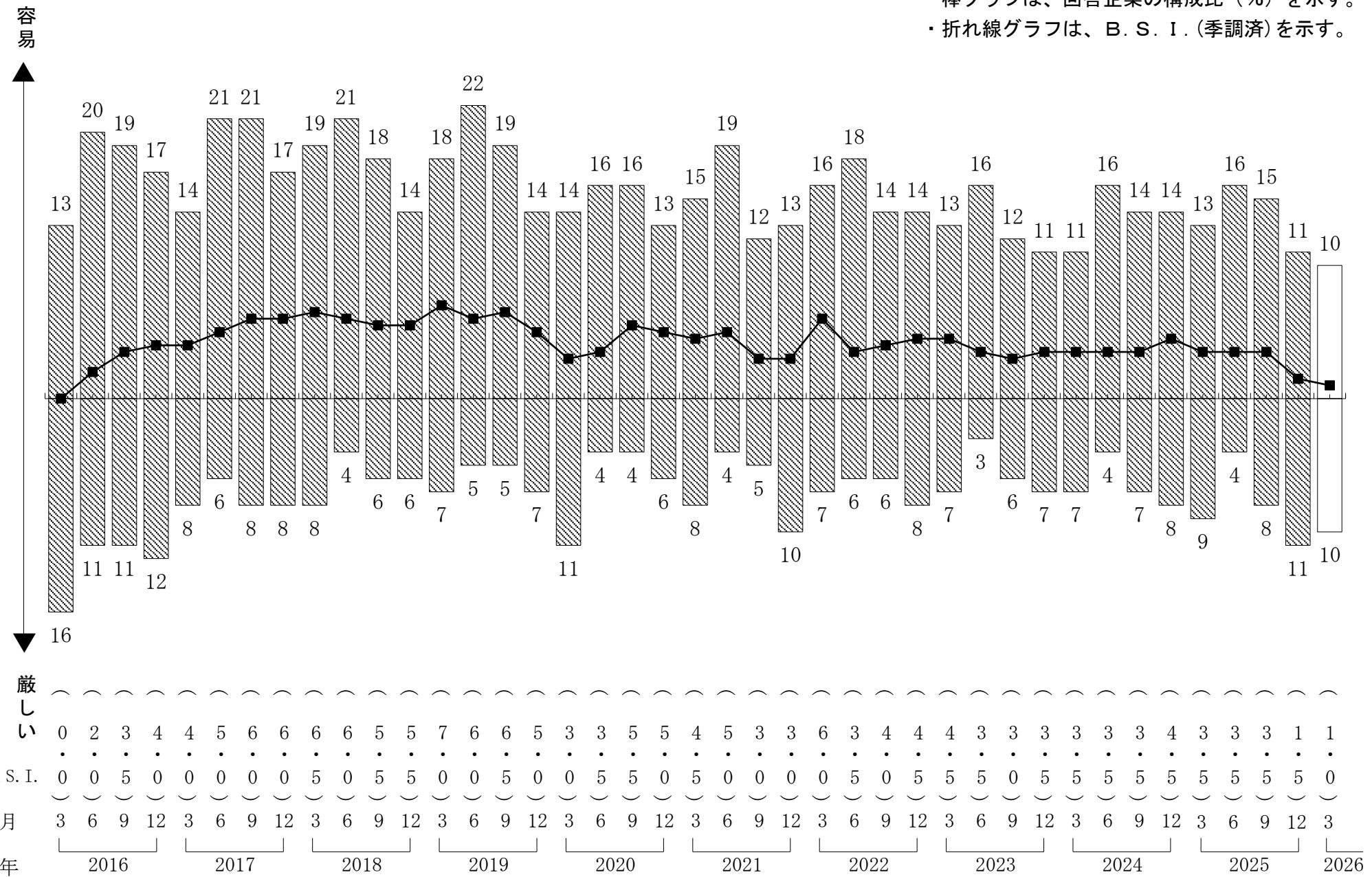


受注総額



資金繰り

- ・棒グラフは、回答企業の構成比（%）を示す。
- ・折れ線グラフは、B. S. I.（季調済）を示す。



収益

- ・棒グラフは、回答企業の構成比（%）を示す。

- ・折れ線グラフは、B S I (季調済)を示す。

